

地域医療連携ニュース

vol.14



新年度を迎えて

千船病院 院長 本山 寛



新しい年度を迎え、御挨拶させていただきます。

昨年度中は、諸先生方に於かれましては当院への紹介・逆紹介や地域連携協議会などを通じ、多大なる御指導、御鞭撻を賜り、誠にありがとうございました。

また、平素は西淀川区医師会の諸先生方に於かれましては当院の運営に多大なる御助言を賜り、大変感謝するとともに引き続き御指導のほど宜しくお願い申し上げます。

当院の努力不足もあり、残念ながら未だ「地域医療支援病院」の承認要件をクリアするに至ってはおりませんが、逆紹介率についてはお蔭様で昨年度より要件となる基準をクリアし、現在は紹介率の基準クリアを残すのみとなっております。こちらもお蔭様で年々基準に近づいておりますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。

さて、今年は『丙申』ということで、“びよんびよん跳ねて荒れる年”などと言われますが、新年早々荒れ年にふさわしい天変地異、政治、経済と数々のただならぬ出来事が起こっているようであります。医療界も例外ではなく、医療・介護費の削減、患者の在宅医療への移行促進という大きな流れの中で、7：1病床の削減が加速されています。今春の診療報酬改定でも急性期病院・病床の削減や絞り込み策として新たに7：1病床の新基準が示されております。当院はこれらの新要件を満たしつつ、新病院へ移転する予定ではありますが、これに加えて地域のがん対策として消化器診療の充実、化学療法／放射線治療や代替医療を整備していく考えであります。そして、地域包括ケア／地域完結型の医療・介護の理念のもと「地域医療構想」による大阪市・西淀川区地域の病院機能整備に貢献していく所存であります。

また今後、在宅化の流れの中で医師・看護師・介護職・歯科医師・薬剤師などの多職種間コミュニケーションが重要となり、すでに西淀川区で稼働中のICTによる「に～よん医療ネット」がより一層活用されることが望まれます。(図1)

他方、少子高齢時代に対して、千船病院の特色である周産期医療活動の一環として、子育て支援、児童虐待の防止、子育て相談、分娩の経済的支援などをますます充実、展開させていく考えであります。

に～よん医療ネット ICTを活用した在宅医療連携

- 在宅療養患者に係る全職種が、患者の医療記録を施設横断的に時系列で必要な時に簡単に確認できるシステム
- 双方向コミュニケーションツールにより、医師同士や訪問看護師等との多職種による情報共有を支援できるシステム

西淀川区の医療・介護職が情報共有できる仕組み=カルテ



(図1) に～よん医療ネット

さて、阪神なんば線「福駅」北の“新千船病院”は2017年春竣工の予定で順調に建築工事が進んでおり、同年7月の開院を予定しております。新病院は西淀川区の救急医療をしっかりと支え、また同時に地域包括の医療提供の使命に即するよう後方病床の充実にも力を入れて参る所存であります。現千船病院の跡地利用を含めた、総合的な医療提供体制を考えて参ります。

諸先生方におかれましては、時節柄御自愛ならびに益々の御清栄を願うと共に、当院へのさらなる御指導・御鞭撻も重ねて宜しくお願い申し上げます。(図2)



(図2) 新病院外観図

新病院の竣工を1年後に控えて

千船病院 ZENSHIN プロジェクト
委員長 吉井 勝彦

千船 ZENSHIN プロジェクトの概要

千船病院新築移転工事は竣工まで残すところ約1年となりました。ここで千船病院新築移転プロジェクトの概要について改めてお伝えしたいと思います。プロジェクトは「千船 ZENSHIN プロジェクト」と銘打ち、平成23年末頃から開始、「安心と安全を未来に」をコンセプトに掲げ、平成29年夏頃の開院を目指しております。コンセプトである「安心と安全を未来に」とは、千船病院の「医療を通じて社会に貢献する」という理念を、新病院でも再現するという事です。急性期総合病院、周産期母子医療センター、がん拠点病院、地域連携病院を目指すとともに、患者様とご家族様のための居心地の良い環境整備やアメニティの充実も挙げております。療養環境に関しましても、延べ床面積で現行の千船病院の2.5倍近い32,773.32㎡あり、患者様にとってゆったりとした空間を提供できるようになります。また、病院の隣には商業施設ができ、現状の療養環境より大幅に良くなるものと思われまます。

工事進捗状況

肝心の工事進捗ですが、平成27年2月に種々の行政協議を経て着工し、10ヶ月の基礎工事を経て、

11月から地上構造体工事を行っています。工事は現在、5階部分の外壁、柱、床のコンクリート打設工事を行っております。平成28年3月で9階建ての5階部分まで進み、折り返し地点を迎えたこととなります。毎月一階一階と建物が出来上がっていく様子を確認でき、工事が順調に進行していることをうれしく思っています。今後は高層部の工事を経て10月頃に地上構造体工事は完了する予定です。また4月末頃からは地上構造体工事と並行して、内装工事も開始されます。内装工事では、部屋壁や扉の設置、天井の塗装やクロス貼り、床のカーペット貼りなどの仕上げ工事を行っていきます。内装工事に入るといよいよ竣工までのカウントダウンが始まったように感じます。平成29年3月の竣工時には敷地面積17,378.23㎡の9階建てになり、現状の千船病院と比較しても一段と大きく目立った建物になります。

コンセプトの通り「安心と安全を未来に」繋げるような病院を目指して参りますので、近隣の皆様方におかれましては今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



航空写真 (H28.3.22 撮影)



東面全景 (H28.3.22 撮影)

INFORMATION

新着任医師のご紹介 よろしくお願ひ致します。



小児科 部長
久門 具子



放射線科 部長
前田 哲雄



整形外科 医長
蓑田 正也



外科 医長
北濱 誠一



整形外科 医長
田辺 慶司

社会医療法人愛仁会 千船病院

大阪市西淀川区佃2丁目2-45
TEL 06-6471-9541(代表)
06-6473-9765(地域医療科)
FAX 06-6474-0161(地域医療科)
<http://www.chibune.ajinkai.or.jp/>



理念

千船病院(千船腎臓・透析クリニック)は医療を通じて社会に貢献します

基本方針

- ・患者さまに質の良い医療を提供します
- ・患者さまに安心と満足の頂ける公正な医療を提供します
- ・患者さまのプライバシーと権利を守ります
- ・開放型病院としての役割を自覚し効率の良い地域医療を提供します